



ピュアフラワー新聞

2015年1月号

— Pure Flower News —

Vol.9

＊成人の「新たな船出」を祝う

新年を迎えてまもなく訪れる「成人の日」。新たな門出を祝して振袖・袴に身を包んだ、新成人の姿が色々なところで見かけられ、とても華やかな日です。

成人を祝う儀式というのは古くから存在していましたが、現在の成人式の形となったのは比較的歴史は浅く、戦後のこと。敗戦後で沈んでいた日本において、若者を元気づけ、日本を明るくしようという目的で始まったものが全国に広がって、今日に至っています。そういう歴史もあってか、実は成人式というのは日本独特の行事だそうです。

最近では何かと騒ぎが取り上げられる成人式ですが、若者の新たな門出を祝うという本来の思いは忘れないようにしたいものです。

また、地方によっては被選挙権を得た二十五歳を祝う「第二成人式」や、三十歳を祝う「三十路式」、十歳を祝う「二分の一成人式」が開催されるなど、バリエーションも広がっているそうです。何歳であっても、ひとつの節目に気持ちを新たにすることは素敵なことですね♪



ここで成人のお祝いにピッタリのお花「シンビジウム」をご紹介します♪

シンビジウムはラン科のお花。ラン科でも有名な「シンビジウム・カトレア・パフィオペディルム・デンドロビウム」の四属は、「四大洋ラン」と呼ばれています。特にシンビジウムは、コチョウランに次いで日本で人気があります。

シンビジウムという名前は、ギリシャ語で「船の形」の意味。唇弁が船に似ていることから、そう名づけられました。華麗な姿はまさに祝いの場にふさわしい佇まい。品種も多彩なため、贈り物として人気があります。また、お手入れが比較的簡単で、初心者でも扱いやすいところも魅力です。

花言葉は「飾らない心」。これからを自分らしく生きてほしいという思いを込めて、新たなる「航海」のお祝いに、贈られてみてはいかがでしょうか？

＊ピュアフラワーから、年末のご挨拶

今年も最後のお届けとなりました。2014年も、ピュアフラワーをご愛顧いただきありがとうございました。より良いお花をお楽しみいただけるよう、スタッフ一同努力してまいりますので、来年もどうぞよろしくお願ひいたします。

それではみなさま、良いお年をお迎えください！



＊今月のワンポイントレッスン

今回はシンビジウムのお手入れ方法について。

といっても、シンビジウムのお手入れはさほど難しくはありません。長持ちさせるコツについて三点だけご紹介します。

(1) 水に延命剤を入れる
切り花のシンビジウムを飾る際には、まず延命剤を入れておくと長持ちします。延命剤はホームセンターなどでも販売されています。

(2) 暖かすぎない場所に置く

気を付けていただきたいのは温度です。寒さには比較的強いシンビジウムですが、暖かすぎる場所に置くと長持ちしません。冬場に暖房が効いている部屋（特に温風が当たる場所）に置くことは避けましょう。適温は3～15℃で、カーテン越しに日光のあたる場所がベストです。

(3) 花に傷がつかないようにする

花に傷がついてしまうと、その場所から枯れてしまうことがあります。特に初めに包装などから取り出す時には注意してください。